

第3回 京丹波町子ども・子育て審議会 議事概要

日時：平成26年1月23日（木） 午後3時30分～5時00分

場所：京丹波町役場2階 議場

1. 開会

2. 協議事項

(1) ニーズ調査の集計結果（単純集計分）について

(2) 将来人口の推計について

(3) 京丹波町における子育て支援施策について

会 長：本日は、(1) ニーズ調査の集計結果の分析について、(2) 将来人口の推計について、(3) 京丹波町における子育て支援施策について、を一括して説明いただいた後、まとめてご意見をいただきたい。それでは事務局から説明を願う。

【事務局による説明】

会 長：資料の詳細な説明をいただいた。ひとまず、事実確認としてお伺いできる部分を整理したい。具体的な施策については、次回以降の議題となる。本日の資料について、それぞれの立場でご質問があれば願いたい。それでは、私から資料の1について質問したい。京丹波町は他の自治体と比べて特徴的な数字はあるのか。

⇒事務局：私見ではあるが、例えば問5の「子育てを主に行っている者」という設問では、他自治体は「父母ともに」が多いが、京丹波町では「母親」が多く、母親の就業率が高い。三世帯世帯が多いので控えめな回答なのではないかと思うが、地域性もあるのではっきりしたことは申し上げられない。また、放課後児童クラブの利用率が高いため、将来の事業量が高くなるのではないかと思われる。

会 長：次回以降に示していただける資料があればお願いしたい。

委 員：放課後児童クラブにおいて、5年・6年生は他自治体と比べてどうか。数字を見ると、6年生などは少ないと思うが、高学年になると利用は少なくなるのか。

⇒事務局：他自治体では高学年の利用をまだされていない。年々、高学年の利用は増えている。長期休暇のみ利用される児童も多い。保護者の就労時間が午後3時・4時までの方については、普段は大丈夫だが長期休暇になると利用する方がいる。

会 長：京丹波町は、早い段階から5年・6年生も含めた施策を行っているということか。

⇒事務局：低学年から高学年になっても利用する児童が多いと思われるので、利用率が高いのではないかと考えている。全国的には4年生までだが、京丹波町では平成19年から6年生まで行っている。

会 長：京丹波町は手厚いケアを行っている。これを今後どう活かしていくかが課題となる。資料1の7ページ、問8の「相談相手がいる」の回答が90%以上あるのはよいことだが、いない人の4%の属性はどの方か。細かい部分ではあるが、重要なところであるのでどういう人に支援が入っていないのか。それらを示していただければありがたい。他はいかがか。

委 員：アンケートを答える中で、知らなかったことがあると感じた。回答された保護者にも、アンケートを答える中で知ってもらえたことがあったと思う。もっと気軽に利用できるような施策を相談していきたい。

委員：子どもが複数いるので、それぞれ回答した。結果は同じだと感じた。私も仕事をしているので、放課後児童クラブの存在はありがたい。母親の就労状況が高いということなので、母親の負担軽減のために、きっちりしていきたい。

会長：ニーズ量に対して、京丹波町としてはどうしていけばいいかという意見をいただいた。他に事実確認はあるか。

委員：教育費の部分で就学前と小学生調査に差があるが、その理由は何かあるのか。理由がわかれば、福知山市と国道9号の整備で協議していく中において、国交省に言わせていただくこともあるので、こちらの方で対策等講じていくことができる。

会長：前者の方で何か資料があるのであればと思うがどうか。

⇒事務局：保育料の設定は低く設定しているつもりであるが、資料がないので今後分析していく。

委員：わちエンジェルができる時、幼稚園を廃止した時に、わちエンジェルは高いと言われた。

会長：次回までに調べて、わかることがあればエビデンスで示していただきたい。その他のところで事務局何かあるか。

(4) その他

⇒事務局：国が遅れており、分析方法の説明会が2月4日にある。3月末には一定ニーズ量を示していきたい。

会長：今の説明も含めて、次回会議の開催時期を示していただきたい。

⇒事務局：次回の会議は3月28日午前中で日程調整願いたい。会場は同じ場所で、変更があった場合は連絡する。

【副会長による本日の会議のとりまとめ】

閉会